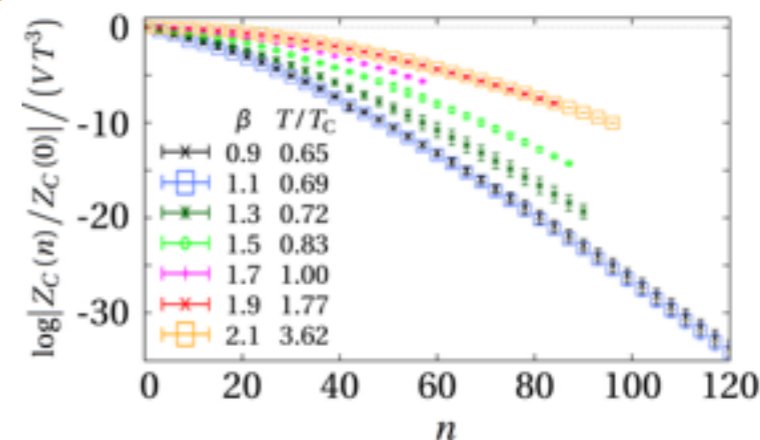


# カノニカル法による有限密度格子QCDの研究

sc-znグループ：谷口裕介（筑波大）

- 有限密度QCDには複素作用の問題がある
- カノニカル分配関数の直接計算で避けられる
- グランドカノニカル分布での物理量を再構成できる
- クォーク数感受率に相転移現象が現れた
- 模型との比較からクォークの閉じ込め非閉じ込め相転移であると思われる
- QCDの相図の一部が求まってきた。

カノニカル分配関数



クォーク数の感受率

